

時報

(304)

●上水協議會

第九回上水協議會は十月二十八日より岡山市に於て開催せられ、出席者は東京市外二十三市、朝鮮臺灣總督府、關東都督府、南滿鐵道株式會社、朝鮮釜山並に木浦居留民團等の代表者總て七十三名に達し、東京よりは遠山博士出席、會場は岡山市會議事堂を以て之れに當てられたり

第一日には開會式を舉行、後、衛戍病院、水道水源地を視察し、第二日は午前中會議あり、午後より一同は中國鐵道にて吉備津宮及吉備津彦命の陵に參拜し、歸途細谷川の舊跡を探勝し、第三日には終日を通じて議事あり、第四日には午後三時半閉會後東山公園絹絲紡績工場を縱覽し、第五日には午前中會議して閉會のこととし、午後閉會の場合には當番市に於て豫め之を其地

陸海軍當局者に通知招待すること、(東京市提出)を議決し、午後よりは講演會に移りて阪田内務技師「水道鐵管の破裂」及遠山博士の「流行病と上水道」の講演ありて閉會、夫より後樂園にて記念撮影をなし、吉備樂を參觀し、猶ほ一同は同所に於ける市の招待會に臨んで茲に無事解散せしが明年の開催地は朝鮮京城、明後年は新潟市に決定せり、尙ほ今回協定せし議題は宿題十一件委員附托二件、新聞題六十二件、報告四十九件なりしと

●遠山博士

東京市衛生試驗所長遠山博士は別項所載岡山市に開催の上水協議會に出席のため十月二十五日京地出發、途に桃山御陵を參拜し、岡山市に滞在議事に參せられたるが本月五日歸京せられたり

●漁船の脚氣

大日本遠洋漁業株式會社の漁船に乗組み千島附近に出

漁中の漁夫に百餘名の脚氣患者を發生し、中數名の死亡者を出したることは普通新聞紙の報道するところなるが臨時脚氣病調査會及醫科大學よりは調査醫員を派出し該病に就て調査せらるゝと云ふ

●虎列拉集報

△全國の患者數 本年初發以來本月二日迄の患者數は福岡六四九、山口二九三、長崎一〇六、廣島四二、愛媛八一、熊本一八、兵庫六九、大分六七、大阪一一六、京都七、岡山四五、神奈川六四、鹿兒島一〇、佐賀八五、千葉六二、高知二六、徳島八、東京一六八、埼玉三、島根二、香川一、山梨三、静岡二四、和歌山三、計一、九五二人

△東京府下の患者數 警視廳の調査に依れば初發以來市部九七、郡部三七、合計百三十四人、之れを區別すれば麴町三、神田五、日本橋八、京橋四、芝一四、麻布一二、赤坂一、四谷三、牛込七、小石川六、本郷八下谷二、淺草九、本所一二、深川三、荏原八、豊多摩

一一、北豊島五、南葛飾一三、外に保菌者は市部三六郡部五なりと云ふ

●講習科卒業式

東京顯微鏡院講習科卒業式は去る八日午後二時より同院講堂に於て舉行せらる、院長遠山博士卒業生並に修業生一同に證書を授與せられ、終て院長の告別辭、生徒總代の答辭ありて式を了れり  
今回の講習生氏名左の如し

- 東京府 北島 斗牛(卒) 沖繩縣 池上雄一郎(修)
- 沖繩縣 藥師 吾吉(修) 沖繩縣 大久保孝三郎(同)
- 島根縣 宇野 平(同) 愛媛縣 佐伯 隆三(同)
- 福島縣 山下 安太郎(同) 東京府 大井田政次郎(同)

●脚氣研究室の移轉

從來軍醫學校内に設置しありたる臨時脚氣病調査會附屬研究室は、先頃飯田町四丁目なる共立婦人育兒會跡を借受け、之に改修を加へ、且つ四五十名の患者は收

(305)